

『SSH講演会』を開催しました

7月11日(木)に、慶應義塾大学理工学部化学科 教授 栄長 泰明 氏 を講師としてお迎えして、全校生徒を対象としたSSH講演会を実施いたしました。このSSH講演会は、科学分野の興味・関心を高めるとともに、第一線で活躍し、優れた業績をあげておられる研究者を招聘し、研究の魅力と最先端科学についての知見を深めることを目的として、毎年、分野を変えながら実施しています。

今回は「ダイヤモンドが電極?~環境改善・医療応用に使える新材料~」という演題で、本来絶縁体であるダイヤモンドに、高濃度のホウ素をドーピングしたダイヤモンド電極という新しい素材が、「健康・医療分野」、「環境汚染チェック」、「環境浄化」、「オゾン洗浄」等に関して、物質量の測定に活用されていることを多くの例を踏まえながら講演していただきました。

特に、医療分野では薬の効き目をリアルタイムで測定する方法や、環境分野ではCO₂を材料に燃料やプラスチックなどの有機物を合成する方法の開発に利用され、測定だけではなく、他の科学領域との連携や地球環境の将来に向けて、最先端の取り組みの様子が窺えました。

本校OBということもあり、講演の最後には在校生に向けた熱いメッセージを送っていただきました。質疑応答の時間は残念ながら取れませんでした。講師から素晴らしい感想や意見をメールで送ってくれば、サイン入りの著作を進呈するとの言葉もありましたので、意欲的にメールを送る生徒も出てくるものと思います。

新材料の開発が新しい研究へと繋がっていることを実感しつつ、基礎研究の重要性を生徒は理解していたようでした。

○講演の様子

